



■ みんなでやりたい 3 面プロジェクト(SUN プロ) 始動

・ 3 面プロジェクト(SUN プロ)とは

『福祉は街創り』を合言葉に、三角錐をイメージし、1面：「当事者活動への応援・関わり」、2面：「市民こころのボランティア講座の開催」、3面：「地域スーパービジョン体制の構築」の3面を同時に押し進め、ご本人たちと支援者たちが、共にこの街に暮らしているよかったですと思えるような街創りを推進していくプロジェクトです。

・ プロジェクト発足会議

1～2回とも当事者、市外の方も含め30名近くの方が参加されました。

第1回では三上実行委員長（帯広生活支援センター）の趣旨説明後、4グループに分かれフリートークで盛り上がりました。

第2回もフリートークを行い、大いに盛り上がっていました。

日々多忙の中で「語り合う」機会に期待しているのかなという感じでした。この「語り合い」を「つながり」にし、更に「かたまり」として、三つの課題にこだわらず、共通の課題が見つければいいと思います。

第3回は11/10（火）。飛び入り歓迎です。今後毎月第2火曜日を例会とし（1月はお休み）実行委員も五里霧中ですが、楽しみも一杯です。

3 面プロジェクト 第 3 回定例会

- 📅 令和2年11月10日（火）、18:00～
- 📍 帯広市保健福祉C2階多目的ホール
飛び入り参加歓迎

■ 最前線で働く 世話人さんのための研修会



諸般の事情で活動を中断していた帯広市障害者グループホーム連絡会ですが、複数の団体の方から再開を希望するお声を頂き、この度再開する運びとなりました。

この連絡会では、グループホームならではの課題点や支援者のスキルアップ、研修会、情報交換などサービスを利用されている方々の生活の質向上に取り組み、時には支援者の悩み解消の場になるよう、様々な活動を行っています。

今年度はコロナ禍で連絡会の開催が遅れ

ていましたが、11月6日に「最前線で働く世話人さんの慰労を兼ねた研修会」と題し、世話人さん目線の勉強会を含め元気になってもらう会を企画いたしました。興味のある事業所様はご連絡下さい。

障害者グループホーム連絡会 世話人研修会

- 📅 令和2年11月6日（金）
13:30～15:30
- 📍 帯広市保健福祉C2階多目的ホール
サポートネット本部(担当：吉田・若山)
- ☎ 0155-25-5987

クッキーハウス ぶどうの木



フリーボールズ

くるみを生地に丸めて焼きあげ、粉砂糖をふるっています



ノルマンド

ラズベリージャムが中にはいった、サクッとしたクッキーです

クッキーハウスぶどうの木では、就労継続支援 B 型まるしえ・ぶどうの菓子部門として菓子製造を主に活動しています。

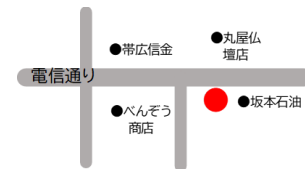
クッキーの種類は 20 種類以上、シンプルなバターのカッキーやポテトチップスを生地にまぶしたクッキー等、沢山の種類を製造しています。価格設定や、ラッピングにも対応いたしますのでイベントや行事にもぜひご活用下さい。

帯広市東 3 条南 6-1-3

営:9:30~17:30

休:土日・祝日

☎:0155-25-9255



職員コラム

Staff Column

実録・我流ソーシャルワーク

垣根を越えて (2)

貧相なアパートの 6 畳一間に住む、当時 80 才に近い A 老人への訪問はもう 3 年くらいになる。家族もいない。この間に悪性の内科疾患も併発し、動く事もままならなくなり、看護師とボランティアさんとの交代で毎日身辺介護や食事の世話、受診同行など日々汗みどろの戦闘モードだったが、何せ口さがなく、いつも「この役立たずが！」が口癖だったから、ボランティアさんには感謝しつつ少し申し訳なかった。結局拒否し続けていた内科病棟への入院になったのだが余命 1~2 ヶ月という。そして今日か明日かという日に訪室した時、「お前にか用は無い！あのババア達を呼べ！」と。

数時間後、2 人のボランティアさんが涙で顔をくしゃくしゃにして来た。また「このアホ共が！」と言われたのだろうかと懸念したが、A 老人の口からは何度も何度も「ありがとナ、ありがとナ」と言われ「これで安心して眠れる」と静かに目を閉じたと言う。救われた気がした。胸をなで下ろしつつ、さりげなく聞いてみた。「俺の事は何か」「いえ、別に」「…ア、そら…」。あれからもう 30 年近くが経った。

ボランティア行為は善意や思いやりも^{むく}服われぬ事も多い。でもこんな素敵な事もあるのだ。押しつけない、決めつけない、私欲を捨てるそんな彼女等から学ぶ事は多い。

…オイッ ジジィ、元気かッ